

令和4年度魅力ある学校づくり推進事業

新たな不登校を生まない取組の推進

- 心の居場所づくりや絆づくりによる不登校やいじめの未然防止につながる魅力ある学校づくりの調査研究を実施(文部科学省の調査研究事業を活用)
- 実践のモデルとして美里町の小牛田中学校区, 不動堂中学校区, 南郷中学校区を指定
- 年3回のPDCAにより, 取組の検証・改善を実施, 協働的な活動等へのICTの活用。

国(国立教育政策研究所)
・拠点校, 連携校訪問 ・協議会開催等



市町村教育委員会
「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

連携

宮城県
・取組総括 ・指導助言 ・普及啓発

魅力ある学校

全ての児童生徒にとって, 学校が行きたくなる大切な場となっていること

教職員主導による 心の居場所づくり

学級や学校をどの児童生徒にとっても落ち着ける場所にする。
→教職員が, 児童生徒が安心できる, 自己存在感や充実感を感じられる場所を提供する。

実行

小・中連携
小・小連携
中・中連携
教育委員会の指導助言

児童生徒主体で取り組む 絆づくり

日々の授業や行事等において, 全ての児童生徒が活躍し, 互いが認め合える場面を実現する。
→児童生徒が主体的に取り組む活動を通し, 自らが「絆」を感じ取り, 紡いでいく。

計画

点検・見直し

児童生徒の意識調査

- ・年3回(7月, 12月, 3月)の調査による意識変容の把握
- ・3月調査をもとに目標を設定

意識調査項目
ア 学校が楽しい
イ みんなで何かをするのは楽しい
ウ 授業に主体的に取り組んでいる
エ 授業がよくわかる

